

小岩井自治会会報

ありっこ

第88号

発行 / 小岩井自治会

編集 / 文化部

発行日 / 令和5年12月1日



小岩井駅の安全活動に感謝状

JR東日本が小岩井自治会に



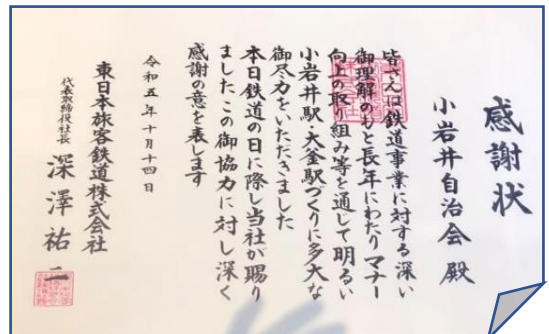
盛岡駅長から感謝状を贈られる
育成会の皆さん（小岩井駅）



小中学生が通学に電車を利用している小岩井地域一。今年度から駅が無人化となったことに伴い、地域、子供会育成会、学校、市関係課、教育委員会等で子供たちの安全対策について話し合いをし、従来通りスクールガードが小岩井駅入り口までの通学路を担当し、新たに子供会育成会の皆さんが駅舎やホーム等での見守り活動を行うことになりました。

現在、育成会の皆さんは仕事をしている人も多い中、全員が当番制で、毎朝見守り活動をしています。

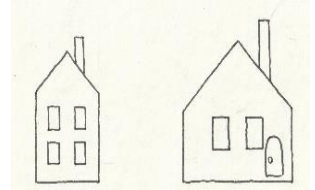
こうした活動に対し、JR東日本から小岩井自治会に感謝状が贈られました。贈呈式は11月14日、小岩井駅で篠木小学校長や自治会長、子供会育成会の皆さんが出席して行われました。



副賞の駅長帽子

小岩井自治会文化祭

数々の素晴らしい作品に魅了される

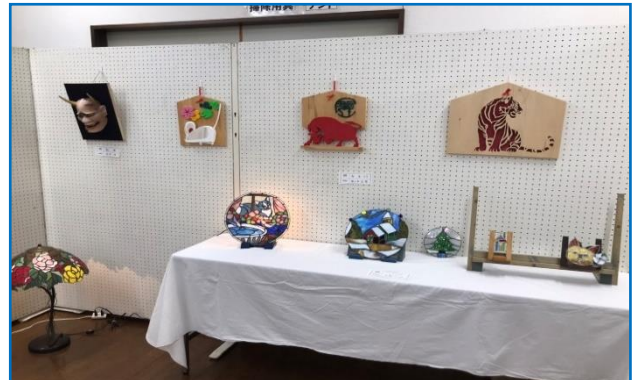
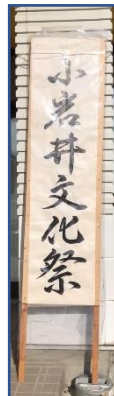


武田滝沢市長も駆けつけて挨拶してくださいました

恒例の秋の自治会文化祭が、令和5年11月4日、5日に小岩井地区コミュニティセンターで開かれました。

今年は、ふうりん保育園の園児や小学生、学童風の子クラブ、地域住民、介護施設ベルヴェーレ入所者の皆さんなどの作品300点ほどが寄せられ、所狭しと展示されました。

会場には、2日間で延べ170名近くの方が訪れ、素晴らしい作品の数々に魅了されていました。このほか、会場にはコーヒー・抹茶コーナーのほか野菜直売所も設けられ大賑わいでした。



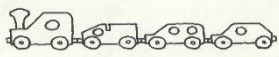
カフェの受付は大忙し



日本の伝統文化・抹茶も用意されました



新鮮で格安の野菜に大人気



小岩井自治会文化祭



楽しい作品がいっぱい。すてきだねー



ベルヴェーレの入所者の皆さんの作品



紙面の都合で一部の紹介
になりました。ご容赦を！

令和五年度滝沢市民体育祭 小岩井チーム堂々の総合優勝



小岩井自治会は第36回滝沢市民体育祭で総合優勝を果たしました。6月11日に開催された前期競技は、卓球、グラウンドゴルフ、ファミリーバレーボールに参加。グラウンドゴルフAチームは優勝、ファミリーバレーボールは4位という素晴らしい結果を残しましたが、卓球は惜しくも予選リーグ敗退となりました。小岩井自治会は、全ての競技において、2チームずつ参加できましたが、これは全自治会を通じて唯一の自治会となっています。

また、9月24日開催の中期競技は、駅伝（男女）とスローピッチソフトボールが準優勝というこちらも素晴らしい結果でした。皆様のご協力には、感謝しかありません。しばらくシーズンオフに入りますが、また、来年度もご協力をお願いすることになるかと思えます。いつも、お願いばかりで恐縮ですが、スポーツを通じた世代間交流の為にもご協力いただけますと幸いです。今年度もご協力本当にありがとうございました。

(体育部 照井 洋)

ファミリーハイキング

秋田県矢島駅を見学

令和5年10月14日（土）小岩井自治会ファミリーハイキングの一行35人は小岩井駅前よりリアス観光のバスに乗り、一路利高原鉄道海山麓線、終着駅の矢島駅に向かいました。新しくなった小岩井駅舎の運用の参考にすべく見学会も兼ねています。矢島駅は小岩井駅よりかなり規模も大きく参考にならないとの意見が多かったのですが、フードコート、物産販売、観光案内などがあり、十分参考になったと私は思いました。

帰り道には秋田ふるさと村に寄るなど、多少遠く感じましたが、充実したハイキングでした。

（13班B 菅原道夫）



カフェではコーヒーなどを提供



地元グッズを取り扱う物販コーナー

【育成会とコラボ!】わくわく歩き隊

リサーチパークの企業を見学

若い人たちも巻き込みたいとの思いから育成会と「わくわく歩き隊」を9月23日に計画実施。参加者は80名を超す参加となりました。恒例のメンバーに加え、育成会の「パパ」「ママ」そして子供たち。企画は、リサーチパークの企業見学と鉄道安全教室。企業見学は「レントオール」と「東日本エアウォーター」。

レントオールはイベントの企画運営、物品貸し出しをしている会社。たくさんの貸し出し物品が倉庫にぎっしりと詰まっていた。他の倉庫とも共有しながら要望に応えられるよう準備しているとのこと。

東日本エアウォーターは、本格営業はまだ先でしたが、見学の要望に応じていただきました。建物の中は商品が傷まないよう温度管理を万全にしている物流の会社で、常時「-25度」を保つ設備がありました。その部屋に入った参加者はあまりの寒さに皆震えあがっていました。外気温は高く、本来は暑いと感じる気温でしたがとても暖かく感じました。

鉄道安全教室 リサーチパークからコミセンまで歩いた後、鉄道安全教室が開かれました。JR 東日本の皆さんに、安全な電車の乗り方、スイカの使い方、踏切の



どんな業務をしているのかな？ 近くに行きながら訪れる機会のない企業について、よく知ることが出来る貴重な体験となりました



渡り方など丁寧に説明いただきました。ちゃぐぽんも一緒に参加し場を盛り上げてくれました。

小岩井地区にありながらどんな企業か分からなかったのですが、今回の企業見学を通して知ることができました。有意義な一日となりました。（事務局長 小田島清美）

小岩井自治会臨時総会が開かれる
小岩井公民館の解体が決定



小岩井自治公民館。昭和38年に竣工し、地域の中心
的集会施設として親しまれ活用されてきました

令和5年9月10日(日)小岩井地区コミュニティセンターで臨時総会が開かれ、小岩井自治会公民館の解体について審議され、賛成多数で決されました。同公民館は、小岩井地域の中心的集会施設として長く地域の皆さんから愛され活用されてきました。しかし、建物が老朽化していることに加え、公民館用地の借地契約が期限切れとなっていることもあり、事情止むを得ないと判断に至り解体することになったものです。

総会では、①余りにも突然すぎる②解体決定に至る経過等の説明が足りない③委任状を議長一人の取り扱いとするのは問題等がある—など意見がありました。採決の結果、賛成多数で決定されたものです。解体工事は令和6年1月から3月の予定です。

65歳以上の一人暮らし、または高齢者のみの世帯等の皆さんへ

避難行動要支援者台帳に登録を

避難行動要支援者台帳登録制度は、災害が起きたときに自分やご家族等の力だけでは避難できず、何らかの支援を希望する方々に、あらかじめ「要支援者」(支援が必要な方)として登録していただき本人の同意の下、関係支援団体と情報を共有し地域の援助体制を整え、災害時の安否確認や避難支援を円滑に行うことを目的としています。

対象(避難行動要支援者)となる人は①住民票で65歳以上の方のみで構成される世帯の方②要介護3から5までの認定を受け、在宅で生活している方③身体障がいのある方のうち、肢体不自由(1種1級又は2級)、視覚障がい(1種1級又は2級)、聴覚障がい(1種2級)に該当する障がいのある方④知的障がいのある方⑤その他支援を必要とする方等です。

ただし、①～⑤に該当の場合であっても、病院・施設等へ入院・入所の場合は対象外となります。

申し込みは、市地域福祉課や地域の民生委員へどうぞ。いつでもご相談・申し込み可能です。また、登録済みの方は、登録内容の見直しも大切です。不明の点など、お気軽にご相談ください。

救急医療情報キット配布の検討を

滝沢市では、65歳以上の一人暮らし、または高齢者のみの世帯、日中高齢者のみの世帯等に救急医療情報キ

ットを配布しています。

救急情報キットとは、ご自宅で万が一のことがあった際の救急医療活動や、災害時での医療活動が円滑に行われるようにし、備えるための道具。氏名、生年月日、血液型、服薬内容、かかりつけ医、緊急連絡先などの情報をシートに自分で記入し、円形のプラスチック容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくもの。具体的には、赤色シールを玄関の扉の内側(屋内)上部に張り、同じ色のマグネットは救急情報キットを保管している冷蔵庫の扉の外側に張っておきます。救急連絡を受けた救急隊員がキットのマグネットを確認し、冷蔵庫のキットから医療情報を確認し、医療情報を医療機関に連絡し素早い搬送が可能となります。申し込みは、地域包括支援センターや地域の民生委員へどうぞ。いつでもご相談ください。

また、すでにキットをお持ちの皆さんも、かかりつけ医療機関などが変わっていれば更新が必要です。医療情報の記入項目に変更はありませんか。ご不明の点など、お気軽にご相談ください。

相談先

6班A 民生児童委員

柴田正幸(自治会会長兼務)

【こいわい地域この人コーナー】



小岩井駅前周辺の今昔

5班 工藤 誠



私は小岩井駅前の地で生まれ育ち生活し始めて 75 年が過ぎようとしています。その長い年月とともに駅前地域の変貌が進み驚いているところです。私が小学生のころを思い出して書いてみました。

その当時の駅前地区にはお店が 1 軒（旧田沼商店）のみで、その隣近所には住宅 20 数軒、大清水地区には 12 数軒、駅南地区には 4,5 軒でした。また、現在、郵便局が建っている場所には J R（旧国鉄）の職員官舎（長屋 2 棟、駅長舎）が建っていました。駅の西側（現小岩井歯科付近一帯）には小岩井農場専用の線路が敷設され木材の貨車輸送のための丸太置き場で、もう 1 か所は駅東側（現美容室 R ガーデン付近）で、肥料や乾牧草等の荷役をするために大きい倉庫が建ってそこにも線路が敷設されていました。皆さん、今では考えられないと思いますが、当時は小岩井農場から駅前 T 字路（現信号機）までトロッコ専用の線路が敷設されており 1 日に数便、馬がトロッコを引いて荷物の集荷集配をしておりました。トロッコ馬車は昭和 33 年に廃止になり、その数年前から定期バスが運行されました。

また、駅より現コミセン方面には道路が無く、大きな製材所が稼働しており、周りには丸太や製材製品が山と積まれておりました。今のように車の往来が多くない時代であったので、駅前広場は私たちが学校から帰ってきてからの遊び場でありました。その後、昭和 40 年頃からは国の政策で開田工事が行われ、今では、一面田園風景となっていますが、田んぼになる以前、保育園前周辺から北側は鬱蒼とした林や湿地で稲荷神社のお祭り（余興、子供相撲大会等は駅前広場で行いました）に行くのに街灯などない農道でしたので怖い思いをしました。

現在の市道（駅前～勤労者体育館前）は平成 4 年に開通しております。

色々思い出しながら書いてみましたが、今思えば小岩井地区（駅も含む）は小岩井農牧様の恩恵を受けながら栄えてきたのかなと思います。

自治会防災訓練

令和 5 年度度防災訓練が 8 月 27 日(日)小岩井地区コミュニティセンターで行われました。

当日は、役員や班長さん方中心に 33 人が参加。消防署員や消防団員の皆さん指導による AED を使った救命

救命訓練や初期消火訓練を行いました。



AED や心臓マッサージを体験。瞬時の対応が大切な命を救います



消火器を使って体験。いざというときに慌てないために

編集後記

もりっこ編集仲間で、無人駅の先覚的な活用方法で知られる JR 山田線上米内駅を見学してきました。(社)次世代漆協会が駅舎の管理を JR から受託。併せて漆関連グッズや手工芸品、野菜類などの物販とコーヒー(有料)等を提供。部屋の真ん中には広めの多目的テーブルが設置してありました。協会の人は留守でしたが、駅前で地域おこし活動をしている「ゆいっこ米内村」の方に話を聞くことが出来ました。駅舎の活用方法が評価されている一方、漆協会と「ゆいっこ米内村」や地元自治会との連携がギクシャクしていて地域振興施設としては有効活用できずにいて課題が残っているとのことでした。小岩井駅を活用していくうえでの参考になれば…。 編集スタッフ

忘れたい瞬間にやってくる災害
いざというときに命を守るために